

ミスミグループ本社 2024年3月期 第2四半期 連結業績

～中国の景気回復遅れや欧米の景気後退懸念に伴う
設備投資意欲の減退により前年比減収～

株式会社ミスミグループ本社は本日、2024年3月期 第2四半期累計期間（2023年4月1日～2023年9月30日）の連結業績を発表しました。主な業績数値は以下の通りです。

(百万円)	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	増減率
売上高	188,158	180,094	▲4.3%
営業利益	26,898	18,515	▲31.2%
純利益	20,240	14,185	▲29.9%
1株当たり純利益	71.18円	50.18円	

1. 2024年3月期第2四半期累計期間の連結業績ハイライト

- 当第2四半期累計期間における世界経済は、昨年度コロナ禍の影響を強く受けた中国市場の景気回復遅れが顕著であったこと、および欧米の景気後退懸念により製造業を中心とする設備投資需要が伸び悩みました。加えて、エネルギーや原材料などコストの高騰や為替変動による影響も続いており、自動車や半導体関連など主要顧客産業における生産が正常化されつつも、設備投資意欲に本格的な持ち直しが見られませんでした。
- こうした環境において、当社はメーカー事業と流通事業を併せ持つユニークな業態を活かしながら、これを支える事業基盤をグローバルで進化させ、顧客の確実短納期ニーズに応えることで世界の製造業を中心とした自動化関連産業に貢献しています。これまで当社が築いてきたIT、生産、物流の強固な事業基盤やグローバル拠点網を活用して顧客の需要を的確に捉えることに尽力し、持続的な成長に向けて実行した新商品・新サービス開発を含む新事業政策も概ね計画通りに推移しました。一方で、設備投資の需要低迷により、日本は前年微減、海外地域は前年比減収となりました。
- この結果、需要減速の影響を受け、為替効果はありましたが、連結売上高は180,094百万円、前年同期比4.3%減(現地通貨ベース6.5%減)となりました。利益面につきましては、売上数量減、稼働低下および一時的在庫評価損の影響に加え、事業モデル革新に向けた新基幹システム導入に関わる費用増加等により、営業利益は18,515百万円(前年同期比31.2%減)、経常利益は20,007百万円(前年同期比27.3%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は14,185百万円(前年同期比29.9%減)となりました。

2. 想定レート以上の為替効果があるも、需要低迷継続により全事業で減収

- 2024年3月期第2四半期累計期間のセグメント別売上高は、以下の通りとなりました。

	売上高(百万円)		増減率	
	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	円ベース	現地通貨 ベース
FA事業	61,415	57,895	▲5.7%	▲8.0%
金型部品事業	39,900	39,329	▲1.4%	▲4.8%
VONA事業	86,842	82,868	▲4.6%	▲6.2%
合計	188,158	180,094	▲4.3%	▲6.5%

- FA事業は、日本において前年同水準の売上を維持できたものの、中国を中心とした海外地域では設備投資需要が全般的に低調に推移しました。
- 金型部品事業は、自動車関連顧客の生産稼働が正常化されつつありますが、設備投資意欲は本格的に回復しませんでした。アジアや欧州など一部地域では増収となりましたが、その他地域は低調に推移しました。
- VONA事業は、売上構成の大きい日本では前年同水準を維持したものの、中国やアジアにおける需要減速影響を著しく受けました。

3. 日本は前年同水準を維持したものの、海外地域は弱含む

- 2024年3月期第2四半期累計期間の地域別売上高は、以下の通りとなりました。

	売上高(百万円)		増減率	
	2023年3月期 第2四半期	2024年3月期 第2四半期	円ベース	現地通貨 ベース
日本	84,069	83,696	▲0.4%	—
海外	104,089	96,397	▲7.4%	▲11.4%
中国	37,492	29,583	▲21.1%	▲21.0%
アジア	29,298	27,996	▲4.4%	▲8.6%
アメリカ	21,284	21,428	+0.7%	▲4.9%
欧州	11,642	12,961	+11.3%	+0.6%
その他	4,370	4,426	+1.3%	▲10.2%

- 日本は、自動車関連など主要顧客産業の設備投資需要が伸び悩み、ほぼ前年同水準で推移しました。
- 海外は、全地域で需要減速の影響を大きく受けて低調に推移しました。

4. 第2四半期末の配当金は12円60銭、前年比5円20銭減

- 当社は、将来にわたって競争優位性を保ち、持続的成長と企業価値向上を実現するため、IT、生産、物流の事業基盤の強化やサプライチェーンの強靱化に積極的に取り組み、事業モデルを刷新し続けています。そのため、中長期的な視点での成長投資と株主の皆さまへの還元は、バランスを取りながら実施してまいります。
- 配当に関しましては、経営基盤拡充、財務体質の強化、資本効率の向上なども勘案し、配当性向25%を基準としていることから、当第2四半期末の1株当たり配当金を12円60銭(前年比5円20銭減)とさせていただきます。期末配当予想につきましては、通期連結業績予想を据え置いたため、1株当たり期末配当金を14円50銭(前年比2円16銭増)に修正いたしました。

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想		14円66銭	27円10銭
配当性向		25.0%	25.0%
今回修正予想		14円50銭	27円10銭
配当性向		25.0%	25.0%
当期実績	12円60銭		
前期実績	17円80銭	12円34銭	30円14銭
配当性向	25.0%	25.0%	25.0%

5. 2024年3月期連結業績予想は従来どおり

- 2024年3月期の通期連結業績予想については、2023年7月28日公表の業績予想からの変更はありません。当社の事業環境において、不透明性は依然として高いものの、当社独自施策の効果や為替の見直しなどを勘案し、前回公表の業績予想を据え置きいたします。なお、今後事業環境の変化により業績に影響を及ぼす重要な事項が発生した場合には、速やかに開示いたします。

2024年3月期連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株当たり純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
通期予想	377,000	42,800	43,600	30,500	108.35
前期実績	373,151	46,615	47,838	34,282	120.53
増減率(%)	+1.0%	▲8.2%	▲8.9%	▲11.0%	—

注)2023年10月1日から2024年3月31日までの期間における平均為替レートについては、足元の為替状況を考慮し、前回7月28日公表時に想定したレートから、1ドル=136.0円を145.0円に、1ユーロ=147.0円を155.0円に、1元=19.0円を20.0円に見直いたしました。

[業績予想に関する留意事項]

この資料に掲載されている2024年3月期の見通し及び将来に関する記述部分につきましては、国内及び諸外国の経済状況、各種通貨の為替レートの変動、業績に影響を与えるその他の要因等、現時点で入手可能な情報をもとに、当社グループが合理的であると判断した一定の前提に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの将来に関する記述のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は、様々な要素により、これら業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知おください。実際の業績に影響を与える重要な要素には当社グループを取り巻く経済情勢、市場の動向、為替レートなどが含まれます。

2024年3月期第2四半期の連結業績の詳細は、決算短信をご参照ください。

この件に関するお問い合わせ
株式会社ミスミグループ本社
インベスター・リレーション室 IR チーム
Tel: 03-6777-7501 Fax: 03-5211-7502
mail: cc@misumi.co.jp